

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	嬉野市立五町田小学校			
1 前年度 評価結果の概要	・会議や研修について内容を見直した結果、職員の働き方改革に対する意識も高まりつつある。また、他の連携機関との連携・協力により担任が一人で抱え込まない体制づくりができ、ここの職員の負担軽減につなげることができた。 ・「学び合い」を活用した授業づくりや基礎学力の定着のために全職員で取り組んだことで、成果も見られた。N I E教育の取組で、自分の考えを書くことにも少しずつ抵抗が少なくなってきた。 ・生徒指導や安全指導の徹底により児童は安全で落ち着いた学校生活を送ることはできた。さらに、S S Tやグループエンカウターの研修を深め、日常の教育相談を丁寧に行う。			
2 学校教育目標	かしこく やさしく たくましい ①かしこい子(主体的に学び、集団の中で生き生きと活動できる子ども) ②やさしい子(自分で考え行動し、他者と協力できる子ども) ③たくましい子(心も体も健康で粘り強い子ども)			
3 本年度の重点目標	①全ての子どもが「活動する喜び」「分かる・できる喜び」「教え合い・学び合う喜び」「追求・工夫する喜び」を感じられる教育活動を推進し、学力の向上を図る。 ②全ての子どもに「関わり合いの中で生き生きと学ぶ」機会を作り、「学校に行きたい」と思える期待感の向上を図る。			
4 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・学習状況調査の採点を通じて、課題や手立てを出し合い、共有化を図りマイプランをたて検証する場を設ける。	副島
	○学び合いを取り入れたわかりやすい授業の実践	○「授業がわかりやすい」「進んで学び合いができた」と回答した児童が90%以上。	・授業の中で、学び合いの場を設定する。 ・思考を助ける掲示を活用したり、発問を工夫して、学習内容の理解を図る。	古賀
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートを通して実践したいと回答した児童が90%以上	・年に2回アンケートを実施 ・道徳の授業・体験活動の充実 ・人権集会	田中
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの早期発見、早期対応 ○問題行動等について職員間での情報共有率100%をめざす。 ○QUテストにおいて1学期よりも2学期は満足群を増やし、要支援群を減らす。 ○「学校が楽しい」という児童の割合が90%以上	・日常の観察を心がけ、子どもの小さなつぶやきを見逃さないようにする。また、子どもが相談しやすい雰囲気作りを行う。 ・月一回の仲良しアンケートやQUテストを行う ・週に一回児童情報共有会を行う。 ・子供同士で認め合うような学級づくりに努める。	牛島
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」と回答する児童が90%以上 ◎めあてをもって実践しようとする児童を90%以上	・キャリアパスポートの活用をする。 ・体験活動では児童に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。	富永
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●「生活・家庭学習チェックシート」を活用し、生活習慣に関する項目が「できた」と答える児童が90%以上	・「生活・家庭学習チェックシート」の①決めた時刻までに起きる ②しっかり朝ごはんを食べる ⑥歯みがきをきちんとする ⑧テレビやゲームは、決めた時間だけする ⑩決めた時刻までにふとんに入る 項目を意識して生活をさせ、自分の生活を振り返らせる。 ・「生活・家庭学習チェックシート」の意識づけを図るとに、結果について情報を発信し、保護者との連携を図る。	峰松
	○体力づくり	○水泳やマラソンなど、「自分の記録をのばそうとがんばっている」と答える児童が90%以上	・体育学習の充実を図り、体育の時間やマラソン大会などにおける自己の記録向上に向けての意欲を高める。 ・佐賀県スポーツチャレンジに参加することを通して、運動の楽しさや競争することの楽しさを感じさせる。	前川
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(毎週金曜日・第3水曜日)の推進	教頭
	○計画的・効率的な業務の遂行	○「計画的・効率的に業務を進めている」と自己評価する職員の割合が90%以上を目指す。	・学校行事やプロジェクトの活動を見直し・精選を行い、年間計画にもとづき、見直しをもって業務に取り組む。 ・校内研修を見直し回数を年間2回減らす。	教頭
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			